



中部電力

**「第20回アジア競技大会選手村後利用事業」の契約候補事業者に決定**

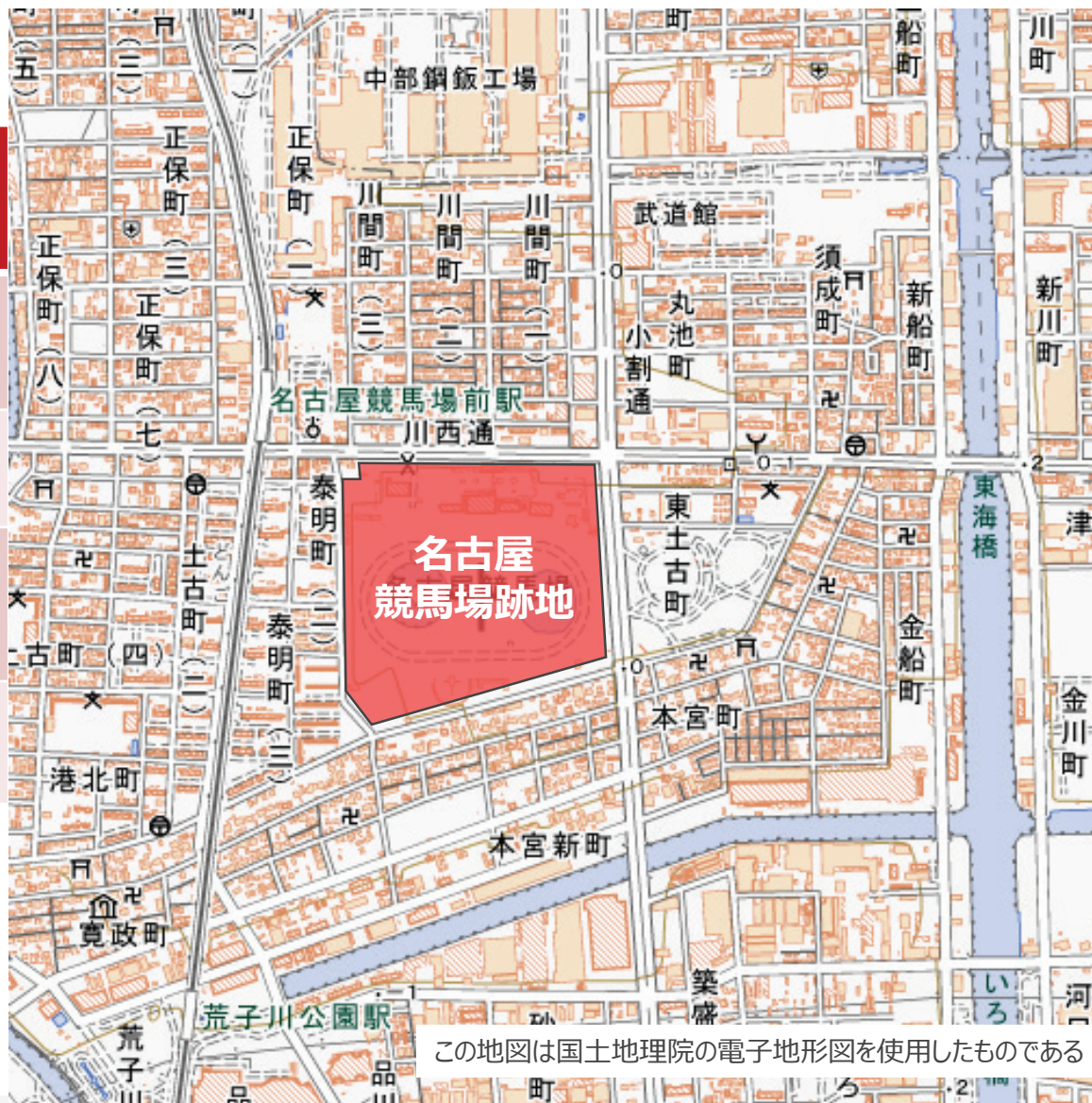
# **本事業者グループの提案概要**

2021年6月24日

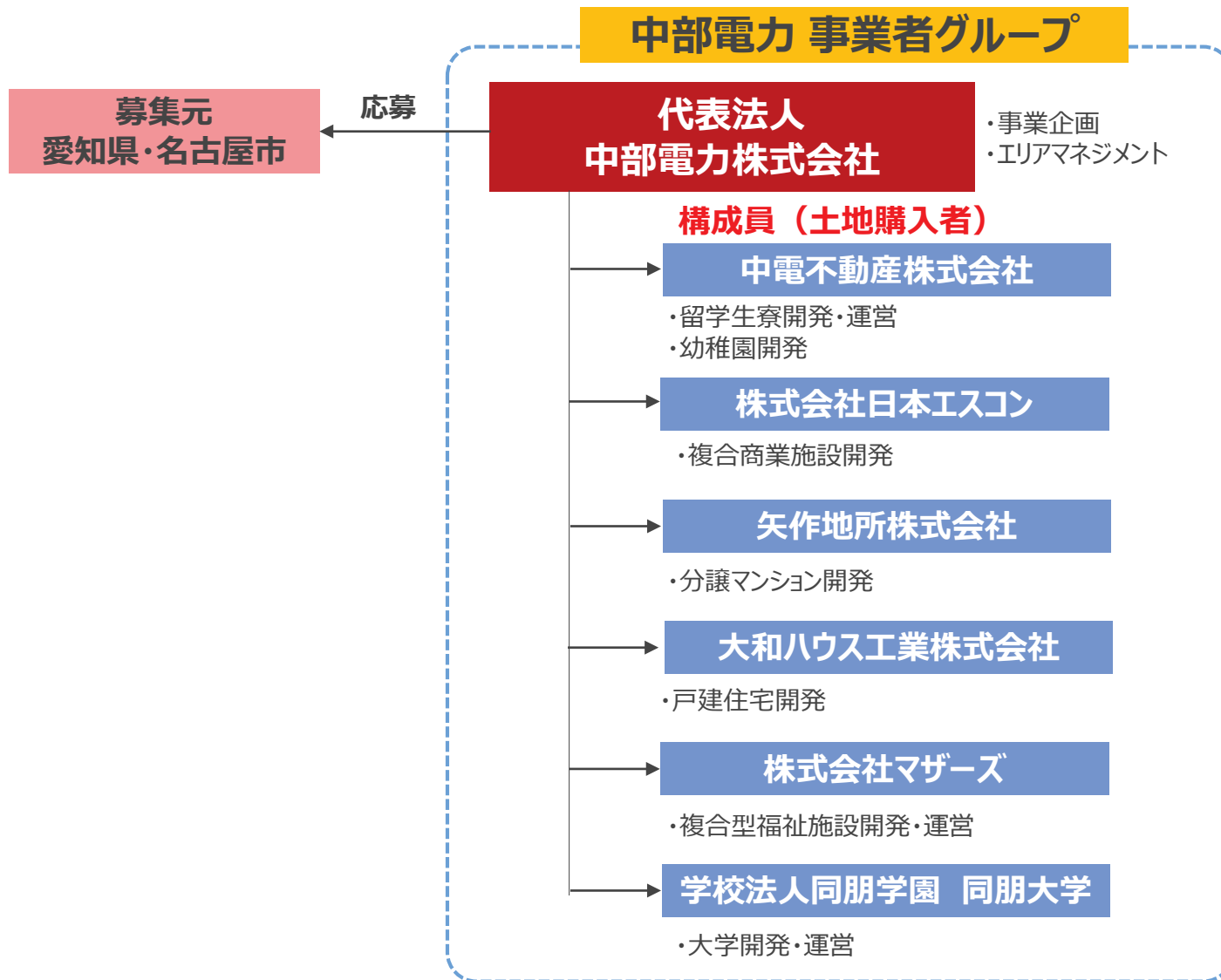
中部電力株式会社

# 1 プロジェクト概要

正式名称	第20回アジア競技大会 選手村後利用事業者募集
場所	名古屋競馬場跡地 (名古屋市港区)
募集元	愛知県・名古屋市
敷地面積	15ha ※バンテリンドームナゴヤ3個分 (新場外馬券売場込みの場合20ha)
まち開き	2028年頃



## 2 本事業者グループの概要



### 3 今後のスケジュール

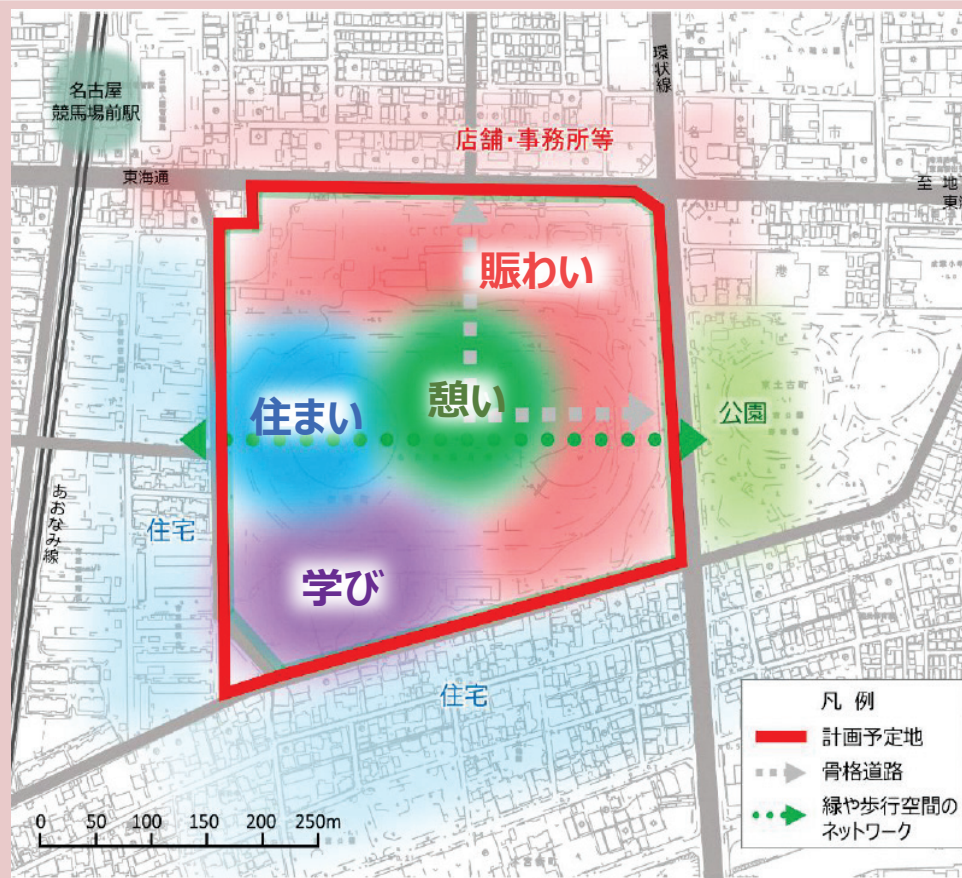
---

2021年7～8月	基本協定の締結
2021年度	後利用事業基本計画の作成
2022年度	基本計画協定、土地売買契約の締結
2026年9月19日～10月4日	第20回アジア競技大会開催
2028年頃	まち開き

## 4 基本構想に基づく4つのゾーン

- 基本構想として、敷地南東部分への**馬券場の残置**とともに、下図のとおり、**4つのゾーン（賑わい・住まい・憩い・学びゾーン）**が示されている。※第20回アジア競技大会選手村後利用基本構想より

### 県・市が策定したコンセプト



#### 「賑わいゾーン」

商業施設、体育館・アリーナなどを導入し、地域の賑わいを創出

#### 「住まいゾーン」

先端技術が導入された住宅を導入し、未来を身近に感じ、エコな暮らしが実現する良好な住環境を創出

#### 「学びゾーン」

学校施設、留学生宿舎、研修・合宿施設などを導入し、多様な人々が国内外から集い、イノベーションが起こるような環境を創出

#### 「憩いゾーン」

公園、広場・緑地、ジョギング・ウォーキングコースなどを導入し、健康づくりや憩いの場となる緑豊かな環境を創出

# 5 土地利用計画及び導入機能

ゾーン	導入機能
賑わい	複合商業施設
	大型商業施設、別棟商業施設 等
学び	福祉系学部を有する大学
	校舎（2学部）、図書館、体育館、多目的グラウンド、野球場、テニスコート
	スポーツ施設
	スポーツクラブ 等
	幼稚園
	留学生寮
住まい	戸建住宅
	分譲マンション
	複合型福祉施設・農場
	高齢者施設、包括的クリニックモール、障がい者グループホーム、レストラン 等



# 6 事業の基本方針①

## グランドコンセプト

多様な人々がつながり、共につくる次世代型のまちづくり

## “ウェルネス・アソシエーション”

ウェルネス (Wellness) …身体的、精神的、そして社会的に健康で安心な状態を目指すための行動  
アソシエーション (Association) …共通の目的を持つ人たちの組織

### 目指すまちの姿

- 多様な人々がつながり、お互い助け合いながら社会課題を解決し、共にしあわせをはぐむまち。
- 最先端の技術やサービスに見守られ、健康で安全・安心に暮らせる持続可能なまち。
- 港北エリアの魅力を引き出すきっかけとなるまち。

### 基本方針

アジア競技大会のレガシー（遺産）は、もちろんスポーツを通じた健康、しあわせの実現ですが、それだけではありません。国籍や性別、世代が異なる多様な人々が集まる本大会においては、選手や主催者だけでなく、愛知県・名古屋市に暮らす多くの人々がボランティアや係員、観客として参加し大会を盛り上げ、また、モノづくり愛知の企業の最先端技術やサービスが安全・安心を支えます。つまり、地域の人々や企業が協力し合って助け合いの輪（わ、WA）をつくる、それこそが本大会の真のレガシー（遺産）であると私たちは思うのです。

私たちが掲げる「目指すまちの姿」を形成する言葉のひとつひとつには、アジア競技大会の様々なレガシー（遺産）が含まれています。そして、アジア競技大会は遺産ではなく財産としてまちへ引き継がれ、生き続けていきます。ここから、アジア競技大会の第二章がはじまるのです。

さあ、共につくりましょう。新しいまちを。



新しいまちづくりに向け、  
多様な仲間が集います。

# ウェルネス・アソシエーションを支える7つの要素



世代や国籍を超え、多様な人々が自然と集まり、交流する空間と機会をつくる



多様な人々が共に助け合い、協力するしくみをつくる



心身ともに健康でいつづけられる環境をつくる



安全・安心・快適に過ごすことのできるしくみをつくる



将来にわたって人々がしあわせにくらしつづけられる環境をつくる



多様な人々の課題を解決する、最新の技術とサービスを導入する



まちの内外をむすび、港北エリア全体に好影響をもたらすハブとなる





中部電力